注目トピックス

「ヤマダ」で施設紹介

他業種コラボでFC展開

▶LABI1高崎店

ONE TOP JAPAN
阪口富左雄社長

総合不動産FCを展開するONE TOP JAPAN（大阪市）は、賃貸・売買仲介から、リフォーム、老人ホーム紹介まで、一生涯のライフステージに応じた不動産紹介をワンストップで行っている。家電量販店やスーパーの店内に店舗を設け、新たな顧客層の獲得を目指す。

同社は異業種とコラボすることで仲介店舗「ONE TOP HOUSE」の出店スピードに勢いをつける。今年2月、ヤマダ電機と業務提携し「LABI1高崎店」（群馬）の店内に第1号店「ヤマダ×ONE TOP HOUSE」をオープン。その後、ユニーグループ・ホールディングスとも業務提携し、愛知にあるスーパー「アピタ」内に「アピタ×ONE TOP HOUSE」をオープンさせ、大阪、東京、盛岡での路面店を含め、現在は9店舗まで伸ばした。

通常、仲介店舗への訪問動機は「インターネット検索」が大半を占めるが、家電量販店やスーパーなどとコラボし、気軽に立ち寄れる環境をつくることで〝飛び込み顧客〟を獲得している。またヤマダ電機の店舗で賃貸契約した場合には、1万5000円分のポイントが付与されるため、家電購買に繋げることもでき、双方にとって相乗効果が期待できる。オープン5ヵ月目を迎えた高崎店の7月実績は、新規来店数37件、再来店数17件、そのうち契約数は25件。他の店舗では、老人ホームの契約も成立している。

阪口社長は「就職や転勤、結婚などライフステージの変化に応じて利用できるサービス体制を整え、住まいのことならなんでも相談できる『住まいのコンシェルジュ』という新しいカタチを広めたい」と話し、賃貸・売買仲介からリフォーム、老人ホーム紹介まで、ワンストップ体制を整える。さらに老人ホームなどへの転居を機に、空き家になってしまった物件の賃貸・売却仲介、リフォーム、管理も行う。

「宅建事業者が老人ホーム紹介を手掛ける例は珍しいのではないか。最近は、『高齢者施設運営事業者も加盟できるか』といった問い合わせもある」（阪口社長）

加盟料は120万円で月々のロイヤリティーは28万円。来年夏までに100店舗を目指すという。

フロー

口腔ケア版「置き薬」

業務請負で介護人材派遣

広告代理業などを行うフロー（東京都新宿区）は、介護事業者向けに展開している事業領域を広げ、従来から展開しているデイサービス向けの介護食品販売サービス「モッテコ」に加え、新たに口腔ケア用品の配置販売サービス「オイテコ」と介護人材サービス「ヘルプマン」という2つのサービス提供を始めた。

「オイテコ」とは〝富山の置き薬〟をイメージしたもので、事業者に口腔ケア用品一式を揃えたボックスを設置し、必要な時に必要な用品を使ってもらうサービスのこと。使用した分の商品を後日補充して代金を精算する。取り扱い商品は口腔ケア歯ブラシやジェル、マウスウォッシュなど歯・舌磨きから保湿・粘膜ケアまで対応できるもの。同社介護事業部部長の高瀬誠執行役員は、「訪問歯科や訪問看護事業所でのニーズを期待しており、年内はテスト販売する」と話す。

一方、「ヘルプマン」とは、介護事業者からの業務請負というかたちで人材を派遣するサービスのこと。介護現場で人手が足りない時間帯に、短期間で利用できるサービスだ。

力仕事や接客、レクリエーションを行う「元気系スタッフ」や介護初任者研修などの専門資格を持つ「福祉系スタッフ」、利用者獲得のための営業・PR活動を行う「営業系スタッフ」の3つタイプから事業者の都合に合う人材を選択できる。

1日4時間から利用でき、基本の料金体系は、「元気系スタッフ」が時給1850円に交通費、「福祉系スタッフ」が2150円に交通費、「営業系スタッフ」が時給2000円に成果報酬となっている。

「人材派遣会社とは異なり、1度のみでも利用可能なほか、職種が選べるため、スポットで人材を派遣できます。当面は『モッテコ』と『オイテコ』、『ヘルプマン』の3本柱で介護関連事業を強化していきます」（高瀬執行役員）

▲口腔ケアに必要な一式

▲3タイプの人材を用意

堺でパンケーキ店オープン

新規事業立ち上げ

▲先月オープンした「幸せのパンケーキ堺店」

高齢者施設や高齢者施設専門給食事業を手掛けるダイフク（堺市）は先月、飲食事業としてパンケーキ専門店「幸せのパンケーキ堺店」をオープンした。「幸せのパンケーキ」を運営する幸せ企画とパートナー契約を結んだことにより、オープンした同店では、無添加素材にこだわり、特殊な方法でふっくら焼き上げたパンケーキが売り。東京では表参道などにあり、「行列のできるパンケーキ」として注目された。

ダイフクは堺市で「なたごころ」ブランドで住宅有料老人ホームやサービス付き高齢者向住宅を運営するほか、給食事業や訪問介護、福祉用具、在宅リハビリマッサージなど手広く事業展開している。来年には「たなごころ訪問看護ステーション」の開設も控えている。

今回のパンケーキ専門店開設については「給食事業部から新規事業立ち上げの希望がありました。介護保険外収入としてのメリットが見込めると思います」という。

見守りシステム 参入へ

認知症高齢者の居場所特定

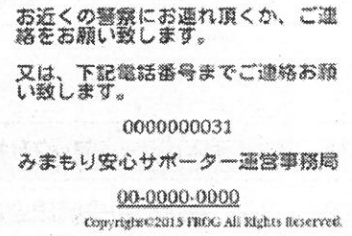
ニッペトレーディング
西本和義社長

塗料用原料や塗料製品などを取り扱うニッペトレーディング（大阪府吹田市）は、新規事業として認知症の高齢者などを介護している人向けの見守りシステムの開発に乗り出す。

同社はスマートフォンやSUICAなどの通信系カードなどで利用されている近距離無線通信（以下・NFC）に着目。街中で徘徊者を見つけた第3者がスマートフォンなどで徘徊者に付けられた〝みまもりワッペン〟（NFC搭載）をタッチすると、その居場所が家族などの介護者にメールで知らせる仕組みを構築したい考え。

メールに記載されているURLをタップすると、発見場所の位置を示したGoogleマップが表示される。NFCを付ける箇所は介護を必要とする人が普段身に着ける衣類や鞄、靴などを想定している。

「この仕組みを構築するためには、一般の人たちにNFCについて周知をしていかなくてはいけない。自治体や警察などにヒアリングしながら、地域レベルで取り組みたい」（西本和義社長）



▲介助者へのメール例

▲みまもりワッペンをスマホでタッチ

「大改正乗り越える」

大阪でセミナー

スターコンサルティンググループ
糠谷和弘社長

スターコンサルティンググループ（東京都港区）は、「介護事業経営革新セミナー」を今月17日に大阪で開催する。

「職員の採用・定着」、「保育併設」、「人材の早期育成」、「助成金活用」を取り上げ、2018年の大改正を乗り越えるための方法を紹介する。

セミナーは4部構成。まず、同社糠谷和弘社長が「介護事業者必見！最強の組織をつくるマネジメント戦略！」をテーマに講演。次に同社の採用・教育コンサルタント近藤麻耶氏が「もう教育で失敗しない！教育プログラム・キャリアパス制度・評価制度構築の『黄金ルール』大公開」について話す。そして、あおば社会保険労務士法人の新井淳子氏が「あなたの施設も『勝ち組』に！賢い『助成金活用法』を徹底解説！」をテーマに講演し、最後に一般社団法人未来創造研究所コンサルティング事業部の千葉美穂子チーフアドバイザーが「事業所内保育所制度を活用して、採用市場で勝つ！」について話す。参加費は1万2000円で会場はリファレンス大阪駅前第四ビル。参加者特典として同社が実施する会員制の勉強会や個別経営相談に無料で参加できる。